

## 令和5年度医師住宅建設事業

### 施策目的：京丹波町における医師確保

#### ◎ 医師住宅建設事業の効果等

■ 医師のワーク・ライフ・バランスをハード面から支援することで、次の効果を期待します

(1) 内科常勤医師の確保

※ 地域包括ケアシステムを支える医師の後継者育成（院長の後継者育成）

(2) 医師不足の助けとなる専攻医の確保

※ 地域医療を担う医師の育成（地域医療研修により経験を積む専攻医等の受入れ）

(3) 住民の安心・安全の観点から、大雨等の有事の際には隣接居住医師が即時対応可能

※ 公共交通機関が不通となった場合、通勤できない担当医師のフォローが可能

#### ◎ 医師住宅活用状況

○ 世帯用住宅（入居者：垣田院長）

○ 単身者用住宅（①専攻医：1年間／②研修医：3カ月及び2週間）

#### ◎ 医師住宅の必要性

(1) 常勤医師の住環境の確保

活用状況から新たな医師住宅への医師入居は困難であるため。

(2) 専攻医や研修医の住環境の確保

病院では医療経験を提供し、終わればしっかり休める住環境を提供することで、次代の医師育成や医師のワーク・ライフ・バランスの確保ができるため。

(3) 医師の住環境を整えるハード面の支援

医師住宅の建設によるハード面の支援は、医師不足である当町の医師確保、医師の後継者育成並びに次代の地域医療に携わる医師の育成に資することができるため。

(4) 医師が隣接地に住むことにより、住民の安心・安全を確保

住民の安心・安全を確保する観点から、町外居住の医師が、気象状況等により公共交通機関が不通となり勤務困難となった場合でも、早急な対応が可能となるため。

## 医師住宅建設計画の内容

### ◎ 全体像

- ① 単身者用住宅 1 棟（2 戸 1 棟）
- ② 基本設計（現存する医師住宅と同じものを建設するため、必要としません）
- ③ 実施設計（現存する医師住宅の設計があるため、費用は安価となります）
- ④ 建設着工（令和 5 年度当初予算に計上し、6 月契約で着工を計画）

### ◎ スケジュール（予定）

- ① 実施設計（令和 4 年度 1 2 月補正予算に計上）  
令和 4 年度内に実施設計
- ② 建設工事（令和 5 年度当初予算に計上）  
令和 5 年 4 月から 6 月にかけて入札及び契約・着工とし、1 2 月末に完成を予定

### ◎ その他

#### ■ 土地

建設予定地は現存する医師住宅の横の土地（病院事業用地）とします。

#### ■ 完成時期

1 2 月末に完成予定としていますが、昨今の建築資材の流通状況から工期延長をしなければならぬ可能性があります。

#### ■ 財源

平成 3 0 年度の建設事業と同様に、起債による財源確保を考えています。

■配置図 S:1/400 (敷地面積: 約1,825m<sup>2</sup>)

- ◆敷地が正形でゆとりのある候補地
  - 上下移動がなく、メンテナンスにも配慮した平屋建を計画。
  - 居住者間の生活音に配慮し住宅間距離を確保。
  - 住宅へのアクセスが良くカーポート設置可能な駐車場。

